

# 令和6年度シラバス

言語聴覚士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態		担当教員名	
言語発達障害演習Ⅱ		講義		西田 和子・平口 昌広	
時間数（単位数）		授業回数		年次	開講時期
60 時間（2 単位）		30 回		2 年次	前期
授業の目的・概要					
ビデオ観察による検査や行動観察から総合的に評価し、目標設定と具体的な指導方法について理解する。					
授業の到達目標					
1. 検査・行動観察・情報収集から実態把握ができる。 2. 幼児期から学童期の評価、指導について理解し、目標設定ができる。 3. 目標設定し、教材を作成する。					
授業計画					
回	内容				
1	オリエンテーション 事例① 指導の展開	(西田)	16	事例④ 総合所見FB 教材作成	(西田)
2	事例① 指導の展開	(西田)	17	遊びの実際	(西田)
3	事例① 指導の展開	(西田)	18	遊びの実際	(西田)
4	事例② 指導の展開	(西田)	19	事例④ 教材発表	(西田)
5	事例③ 事例呈示・行動観察	(西田)	20	事例④ 教材FB	(西田)
6	事例③ 行動観察まとめ	(西田)	21	小児セラピーの進め方	(平口)
7	事例③ 検査分析・評価	(西田)	22	VTR評価 ①（自由遊び場面レポート①）	(平口)
8	事例③ 検査分析・評価	(西田)	23	定型発達の理解	(平口)
9	事例③ 検査分析・評価 総合所見	(西田)	24	VTR評価 ②（自由遊び場面レポート②）	(平口)
10	事例③ 総合所見FB 報告書の書き方	(西田)	25	VTR評価FB	(平口)
11	感覚統合・臨床観察	(西田)	26	VTR評価 ③（自由遊び場面レポート③）	(平口)
12	運動遊び	(西田)	27	VTR評価FB	(平口)
13	事例③ 報告書FB WISC-IV 解釈	(西田)	28	VTR評価 ④（自由遊び場面レポート④）	(平口)
14	事例④ 事例呈示 WISC-IV 分析・評価	(西田)	29	VTR評価FB	(平口)
15	事例④ WISC-IV 分析・評価 総合所見	(西田)	30	VTR評価 ⑤（自由遊び場面レポート⑤）	(平口)
成績の評価方法と基準					
種別	割合	評価基準・その他備考			
定期試験					
レポート・課題	100%	西田 (65%) 平口 (35%)			
小テスト					
平常点					
その他					
自由記載	各レポートで基準に満たない場合は、再提出がある。				
教科書					
書名	著者・編集者名			出版社名	
言語聴覚士のための言語発達障害学 第2版	石田宏代・大石敬子 編			医歯薬出版	
標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第3版	藤田郁代 監修			医学書院	
自由記載					
参考文献					
書名	著者・編集者名			出版社名	
発達がわかれば子供が見えるー0歳から就学までの目からウロコの保育実践	田中真介 監修			ぎょうせい	
自由記載					
備考					